



2022年度（令和4年度）
びんご圏域活性化戦略会議

2023年3月27日（月）

次第

日時：2023年3月27日（月）10：00～

場所：オンライン開催

1 開会

2 副会長の選任

3 協議・報告事項

(1)備後圏域の人口動態について

(2)第2期ビジョンの全体像と重点プロジェクトについて

(3)重点プロジェクトにおける2023年度の主な事業について

(4)その他事業

○以降非公開

4 閉会

(1) 備後圏域の人口動態について

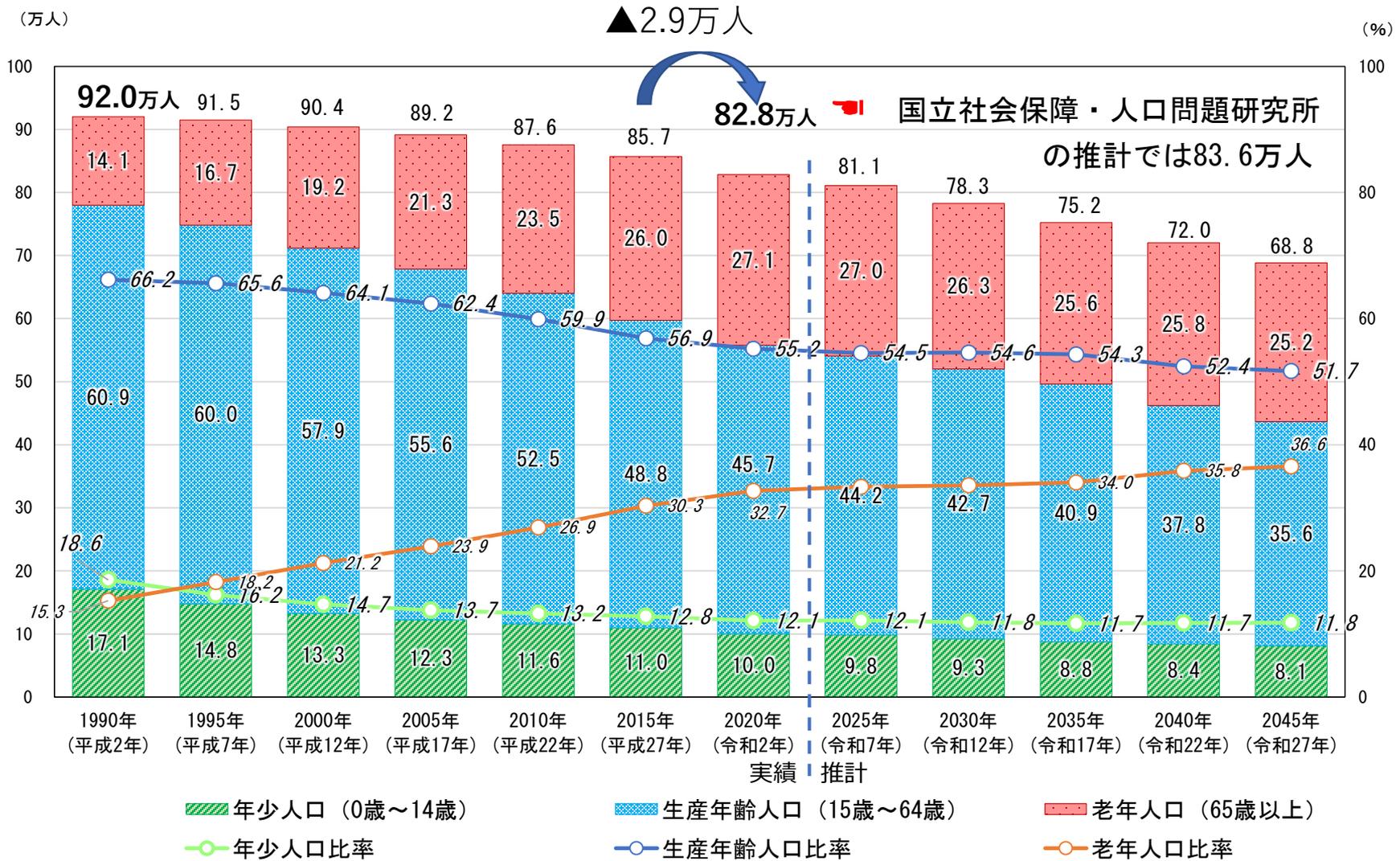
① 備後圏域の人口推計

目標人口：2030年(令和12年)80万人

2015→2020年比較

・全国	0.7%減	▲ 94.9万人
・広島県	1.6%減	▲ 4.4万人
・岡山県	1.7%減	▲ 3.3万人

3.4%の減
▲2.9万人



② 備後圏域における社会動態

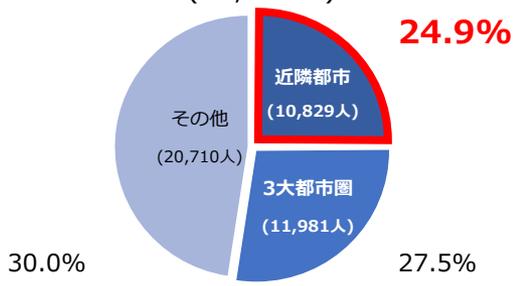
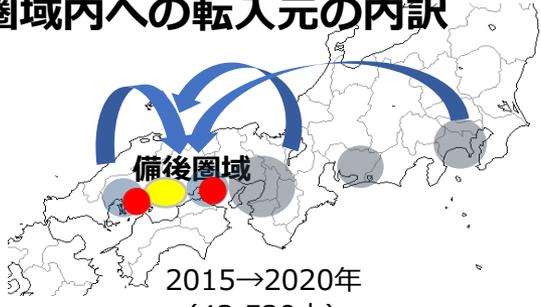
■ 各市町の人口

	2015年	2020年	増減
三原市	96,194人	90,573人	▲5.8%
尾道市	138,626人	131,170人	▲5.4%
福山市	464,811人	460,930人	▲0.8%
府中市	40,069人	37,655人	▲6.0%
世羅町	16,337人	15,125人	▲7.4%
神石高原町	9,217人	8,250人	▲10.5%
笠岡市	50,568人	46,088人	▲8.9%
井原市	41,390人	38,384人	▲7.3%
合計	857,212人	828,175人	▲3.4%

※近隣都市：広島市，岡山市，倉敷市
 三大都市圏：東京圏（埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県）
 名古屋圏（岐阜県，愛知県，三重県）
 大阪圏（京都府，大阪府，兵庫県，奈良県）

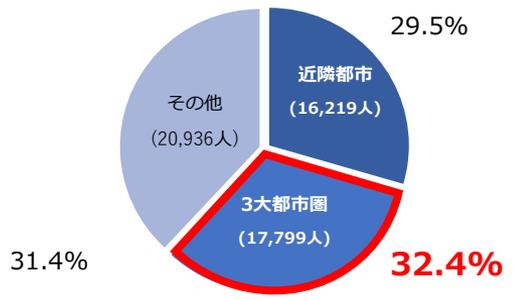
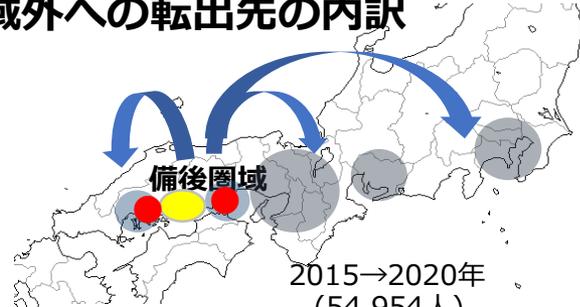
（出典）総務省「平成27年国勢調査」「令和2年国勢調査」

■ 圏域内への転入元の内訳



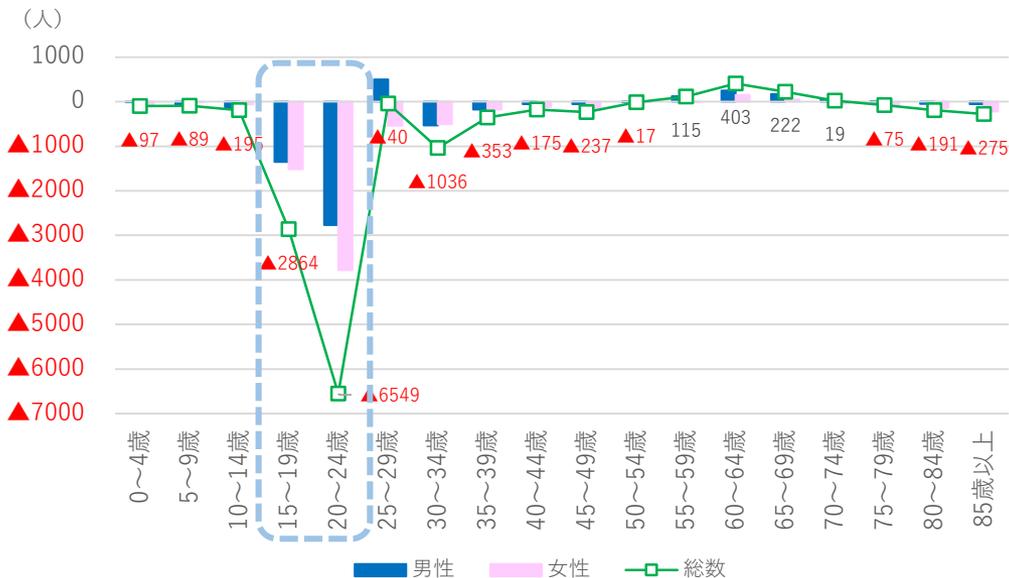
※近隣都市：広島市6,230人，岡山市2,529人，倉敷市2,070人

■ 圏域外への転出先の内訳

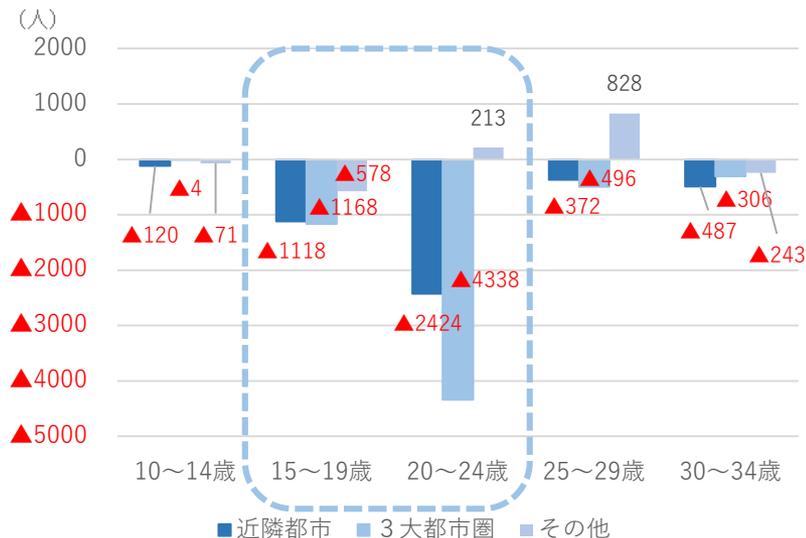


※近隣都市：広島市9,079人，岡山市4,167人，倉敷市2,973人

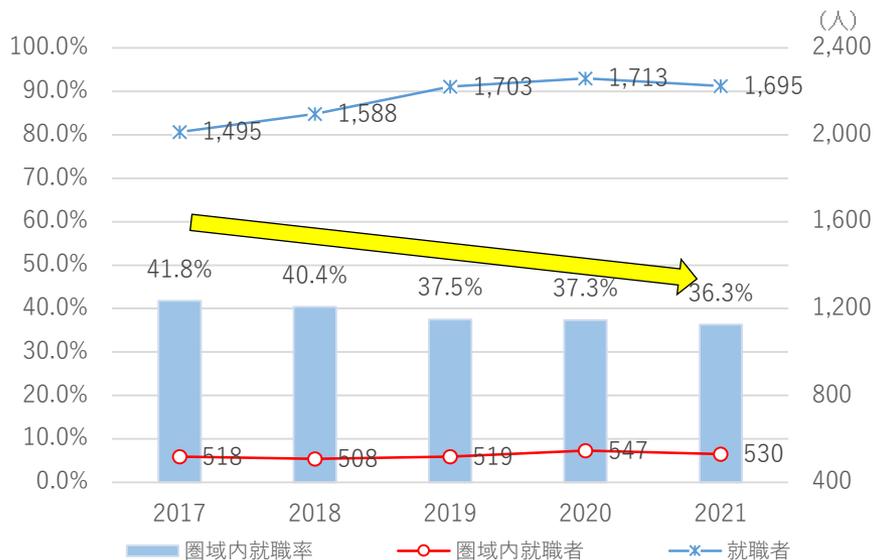
■ 年齢別社会増減



■ 地域別転出・転入超過数



■ 備後圏域内大学の圏域内就職率と就職者数



Point

1 5~24歳の転出超過が大きく、特に女性においてその傾向が顕著である

転出先で見ると、20~24歳が3大都市圏への転出が大きい

大学生の就職者は増加しているにも関わらず、**圏域内の就職率は低下**
圏域内大学生に圏域の魅力伝えて
圏域内での就職を促す

(出典) 総務省「令和2年国勢調査」、福山市資料

(2) 第2期ビジョンの全体像と重点プロジェクトについて

【将来像】豊かさが実感でき、いつまでも住み続けたい備後圏域

(視点)	(分野)	(基本施策)	(取組の方向性)
経済	産業	圏域を支える産業の活力向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域経済の好循環の促進 ● 圏域の強みを生かした成長産業への支援 ● 多様な人材の育成・確保 ● 多様な働き方の推進 など
	農林水産業	第一次産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 6次産業化・農工商連携の推進 ● 地域資源の圏域内流通の促進 など
	観光	戦略的な観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域の魅力を生かした広域観光等の推進 ● インバウンド観光の推進 など
都市機能	高度医療	高度医療の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 医師の確保・看護職員等の養成・確保 など
	都市基盤	広域的な都市基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通網の維持・確保 ● 公共施設の広域的な管理・運用等 ● 中心市街地の活性化等 など
	高等教育	高等教育機能の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 高度で専門的な技術支援に向けた環境整備 ● 知の拠点を活用した人材育成・情報発信
	医療・福祉・介護サービス	医療・福祉・介護サービス等の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域包括ケアシステムの充実 ● 障がいのある人が生き生きと暮らせる環境整備 など
住民サービス	健康づくり	健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康づくりの推進
	出産・子育て	子どもを生み育てやすい環境づくりの推進 など	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもを生み育てやすい環境づくりの推進 など
	安心・安全	地域防災を担う専門人材の育成・充実 など	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域防災を担う専門人材の育成・充実 など
	環境・エネルギー	暮らしを支えるネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物の広域処理 ● 再生可能エネルギーの地産地消 など
	行政サービス	システムの共通化等による行政サービスの向上 など	<ul style="list-style-type: none"> ● システムの共通化等による行政サービスの向上 など
	地域振興	地域資源を活用した圏域の魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 定住人口等の増加に向けた情報発信・環境整備 ● デマンド交通等の移動手段の充実 ● 大学との連携による地域振興 など
	歴史・文化・教育・スポーツ	誰もがスポーツを楽しめる機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史・文化・教育の振興 ● 誰もがスポーツを楽しめる機会の創出
	高等教育	高等教育機能の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域全体をマネジメントできる人材の育成

【重点プロジェクト】

① びんごイノベーションエコシステム形成支援P J

圏域内の経済循環が強化されるとともに、新たな事業が生まれる持続可能な圏域経済を構築

- 域内経済循環の強化
- 中小企業のICT化支援
- ドローンによる地域課題の解決など

② 広域観光・交流P J

圏域の資源をつなぎ、新たな人の流れを創出

- ワークেশョンの強化など

③ 医療連携強化P J

医療人材の確保など医療提供体制の確保に向けた環境整備

- 医療版ワークেশョンの実施
- 看護師確保の推進など

④ 行政サービス効率化P J

職員が減少する中でも、市民サービスの質を向上

- オンライン行政サービスの拡充
- 行政事務の効率化など

(3) 重点プロジェクトにおける2023年度の主な事業について

01

びんごイノベーションエコシステム 形成支援プロジェクト

ECONOMY

2024

【めざす姿】

- 圏域内での調達・消費により
地域経済の好循環を促進
- デジタル技術の導入による効率化が進み、デジタル化を活用した**新たなビジネスが展開**
- 多様な人材の活躍と、多様な働き方ができる環境づくりを推進

2022

- 販路拡大支援の拡充により、圏域内事業者の稼ぐ力を強化
- 企業の取組状況に即した支援体制の強化

2021~
2020

- 地域経済循環に必要な商社機能構築のための施策を検討
- びんごデジタルラボ・ICT相談所の圏域への展開

2023年度の主な取組

○まちを良くする多様な主体を発掘・育成

- 多様な主体による地域づくりの実現に向けて、課題解決に係る学びや発表の機会として、民間事業者等との連携により、ソーシャルビジネスセミナー、せとうちビジネスコンテストを開催

【参考】

○2022年度実施状況

- ソーシャルビジネスセミナー開催（7月 32人参加）
 - ✓ 地域課題に対し、ビジネス視点を持って解決に取り組む社会起業家を育成
- せとうちビジネスコンテスト開催（9月38チーム応募 うち本選10チーム）
 - ✓ 最優秀賞：テントサウナを使い、滝や神社などの未利用資源を活用するビジネスプラン

○兼業・副業人材の活用促進

- 圏域内企業における兼業・副業人材の活用を促進し、企業課題の解決や経営の高度化を支援（15社予定）
- 参加者に各市町の移住支援制度について紹介し、移住にもつなげる

【参考】

○2022年度実施状況

- 企業経営における人材活用シンポジウムの開催（7月 55社参加 うち尾道市3社、福山市38社、府中市2社ほか）
- 中小企業を対象とした兼業・副業人材のマッチング

○**新**青年会議所連携事業の創出

- 圏域内の青年会議所6団体と連携し、圏域内の産品を活用したイチ押しコンテンツ創出に向けたイベントを開催し圏域内産品のPRにつなげる



【せとうちビジネスコンテスト】



【最優秀賞受賞チームによるサウナイベント】



【企業経営における人材活用シンポジウム】

○**新**圏域共通のふるさと納税返礼品の造成

- 備後圏域の内，地場産品を組み合わせた，共通返礼品を造成し，各市町のふるさと納税サイトに掲載
(案) 三原市「酔心」×福山市「天寶一」×神石高原町「神雷」のお酒セット
☞ 今後，各市町の海鮮物や，果物等の農作物等を組み合わせたセットを検討

○**新**地域商社としての道の駅の機能強化

- 道の駅の運営事業者も参画し，機能強化に向け，道の駅間のネットワーク強化や地域産品の流通促進に向けた取組を検討
- 道の駅の機能強化を通じて，農業・漁業等の関連する事業者の稼ぐ力を向上

○備中備後ジャパンデニムプロジェクトの更なる展開

- ①これまでの事業の成果と変化する市場等を分析し，ブランド価値の更なる向上に向けた新たな展開を検討

【参考】

○2022年度実施状況

- デニム・ジーンズの展示会「三備 INDIGO WORKS」の開催
✓オンライン展示会（9月15日～3月14日）
参加事業者数：9社　うち福山市3社・井原市1社
- ✓リアル大規模展示会（10月18日～10月20日）
参加事業者数：8社　うち福山市2社・井原市1社
実施結果：商談件数170件，成約件数5件
- 備中備後デニム商品化コンテスト2022実施（8月～10月）
✓備中・備後地域のデニムを使用したデザイン画を募集
応募総数：303件
受賞作品：2件（最優秀賞，優秀賞）



【参考】経済産業省「次代を担う繊維産業企業100選」に備後の事業者5社選定

○ 概要

繊維産業において、次の5分野において優れた技術を持った企業や優れた取組をしている企業を募集し、有識者による審査委員会での審査を踏まえて選定。

今後、企業を取組を収録した事例集を作成し、経済産業省のHP内に掲載予定。

- 【選定分野】 ①サステナビリティ ②デジタル化 ③技術力やデザイン力による付加価値の創出
④新規性のある事業・サービスの展開 ⑤海外展開

○備後圏域で選定された企業

・クロキ株式会社（井原市）

選定分野：⑤海外展開

・株式会社アクセ（尾道市）

選定分野：③技術力やデザイン力による付加価値の創出
④新規性のある事業・サービスの展開
⑤海外展開

・株式会社Asahicho（府中市）

選定分野：③技術力やデザイン力による付加価値の創出

・坂本デニム株式会社（福山市）

選定分野：①サステナビリティ
③技術力やデザイン力による付加価値の創出

・山陽染工株式会社（福山市）

選定分野：②デジタル化
③技術力やデザイン力による付加価値の創出
⑤海外展開



○ 中小企業のデジタル化支援

- 企業向けデジタル化の事例見学会を開催
例) 圏域内企業の製造部門・管理部門などのデジタル化による多様な課題解決事例を想定

【参考】

○2022年度実施状況

〔びんごデジタルラボ〕

- ・ 中小企業のデジタル化の事例発信や啓発セミナーの実施（10回開催，参加者316人）
✓ セミナーテーマ：「ペーパーレス」，「業務改善の取組事例」等

〔びんごICT相談所〕

- ・ デジタル化の個別相談や現地での伴走支援
✓ 個別相談支援件数 （33件）
✓ 企業訪問による現地での伴走支援 （18件，うち尾道市1件，福山市16件，府中市1件） ※2月末時点



○ 中小企業のデジタル人材の育成

- ものづくり大学に企業の要望に合わせたDXスキルアップ講座を追加

【参考】

○2022年度実施状況

〔びんごAI講座〕

- ・ AI導入推進リーダーの育成を目的としたセミナー及び連続講座の実施（参加者59人）

〔びんごデジタルラボ・アカデミー〕

- ・ ビジネス向けクラウドサービス等の体験型セミナー（3回開催，参加者55人）



○ ドローンを活用した地域課題解決

- ドローンワンストップ窓口やコミュニティの場を活用した事例の創出
- 企業の実証実験支援（実証実験の場所、協力者の確保）

【参考】

○2022年度実施状況

- ドローン活用推進拠点の整備
実証実験可能なドローンフィールドを2か所開設 **【神石高原町】**
- ドローン活用人材育成の強化
法令改正に伴う研修の実施（参加者34人）
- ドローンの活用促進に向けた機運醸成
 - ✓ 府中市ドローンレース全国大会2022を開催 **【府中市】**
 - ✓ ドローンフェス2023in府中を開催 **【府中市】**
内容：・ドローンプログラミング体験フライト
・ドローン組立ワークショップ
・企業展示会
・マイクロドローンレース大会 など



02

広域観光・交流プロジェクト

TOURISM

2024

【めざす姿】

- 圏域内観光の**消費額拡大**
- インバウンド観光の**コンテンツ造成**
- インバウンド**受入環境強化**

2022

- 観光コンテンツの充実とプロモーションの強化
- インバウンドをターゲットとした観光コンテンツの造成

2021～
2020

- 食を通じたマイクロツーリズムの促進

2023年度の主な取組

○新たな観光コンテンツの造成

- 「お酒」をテーマに、井原鉄道を活用した備後圏域と高梁川流域圏域を結ぶ新たな観光コンテンツを開発
- 事業者による備後圏域と高梁川流域圏域を周遊する旅行商品の造成に対する支援を実施【参考】

○2022年度実施状況

- 「星空バスツアー」の実施（福山発・倉敷発計7回 133人参加）
- 「古墳・遺跡巡りツアー」の実施（福山発・倉敷発計2回 8人参加）
- 「北木島で牡蠣の水揚げ体験ツアー」の実施（福山発・倉敷発計2回 26人参加）



○**新**インバウンド向け観光地づくり

- インバウンド旅行者の誘致に向け、一体的な戦略に基づくプロモーションを実施（観光庁の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」に備後圏域として10月に申請）※1次審査通過



【参考】

○2022年度実施状況

- 台湾をターゲットにした、尾道・福山・笠岡を船で巡るモニターツアーの実施（11月）

【参考】インバウンド向け観光地づくり

○台湾向け観光コンテンツの造成及びプロモーション

○モニターツアーの実施

- ・ 日 程：2022年（令和3年）11月21日～22日
 - ・ 概 要：台湾からの誘客を目的に、台湾で俳優やモデル・漫画家として活躍しているインフルエンサーを招聘した、瀬戸内海を船で巡るモニターツアーを開催
 - ・ 参加者：台湾人インフルエンサー4人、台湾人ライター2人
 - ・ 報道関係者：新聞社4社 テレビ局3社
- ⇒実際に旅行商品として販売開始（2023年2月6日）

○観光プロモーション及びお土産BOX販売

- ・ 特産品を詰め合わせたお土産BOX を台湾に展開しているECサイトで販売（2022年12月）
- ・ アジア向け日本情報サイト「FAN! JAPAN」へモニターツアーの記事を掲載（2022年12月）
- ・ インフルエンサーによるSNS情報発信（Facebook, Instagram）（2023年1月）

【FAN! JAPAN掲載記事】

～タイトル～

瀬戸内海のプライベートスポットを探検！

広島・福山・鞆の浦・岡山・笠岡・北木島はこんな感じ

【インフルエンサー4人のSNS投稿】

- ・ Facebook総フォロワー数 23.8万人、いいね！数 6,439人
- ・ Instagram総フォロワー数 11万人

※3月16日時点



03

医療連携強化プロジェクト

MEDICAL CARE

2024

【めざす姿】

- 医師・看護職員などの医療人材確保による安定した医療提供体制の構築

2022

- 研修医定着に向けた支援メニューの構築
- 看護職員確保に向けた共同した取組

2021~
2020

- 周産期医療体制の強化
- 研修医等の確保や養成に向けた支援制度などの構築

2023年度の主な取組

○初期臨床研修医・専攻医の確保・育成

- ・ 研修病院において勤務する初期臨床研修医・専攻医に対して研修に係る費用の一部を支援（補助額：1人あたり12万5千円/年）

【参考】

○2022年度実施状況

- ・ 初期臨床研修医 交付決定23人
- ・ 専攻医 交付決定15人

○医療版ワーケーションの実施

- ・ 福山夜間小児診療所での勤務により、小児救急医療体制を確保
- ・ 圏域外の医療人材を対象にワーケーションを実施

【参考】

○2022年度実施状況

- ・ 8人の小児科医が出務 計21日勤務（2月末現在）

○看護職員の確保

- ・ ナースセンター・サテライト福山と連携した復職支援
- ・ びんご看護ネットやSNSなどを活用した看護職員の魅力発信

【参考】

○2022年度実施状況

- ・ ナースセンター・サテライト福山での求人・求職の紹介、復職希望者への研修会等（15回）の実施
- ・ びんご看護ネットのサイトリニューアル（3月）
 - ✓ 15人の看護職員が看護の魅力を写真や動画で紹介
 - ✓ 奨学金制度や復職・再就職に関する情報を新たに提供



04

行政サービス効率化プロジェクト

SYSTEM

2024

【めざす姿】

- デジタル化による行政サービスの質の向上
- 兼業・副業人材の積極的活用による施策構築の高度化

2022

- 圏域内オンライン化の加速
- 兼業・副業人材活用の横展開, 新たな事業構築

2021~
2020

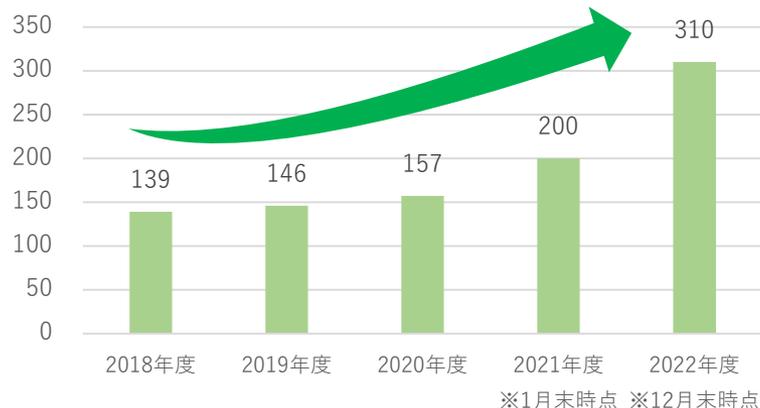
- 業務の標準化・効率化の推進
- 兼業・副業人材活用事例の創出

2023年度の主な取組

○行政サービスのオンライン化の加速

- 行政事務におけるRPA等のデジタル技術の導入に向けた調査，研究，情報交換等を行い，デジタル化による行政サービスの更なる効率化を推進

電子申請導入手続数（備後圏域）



【参考】福山市「書かない窓口システム」を導入

- 2023年3月6日からスタート
- マイナンバーカードや運転免許証を専用端末に読み込ませることで，申請書類への記入を簡素化



○子育て支援の充実

- 圏域内のネットワーク構築による，子育て家庭にとって，より利便性の高い保育サービス（広域入所の拡充など）の実施に向けた検討

【参考】

○2022年度実施状況

- こども発達支援センターの機能強化
 - ✓ 医師，公認心理師，保健師等を各1人増員（医師2人，公認心理師1人，保健師5人）



2023年度の主な取組

○兼業・副業人材を活用した行政課題の解決

- 「びんご兼業・副業人材バンク」を活用して、兼業・副業人材をスピーディーにマッチングすることで、行政課題の解決を促進

【参考】

○2022年度実施状況

- 登録者数 34人
- 相談件数 40件 ※ HRMOS 運用開始（2021年11月）から延べ53件



2022年9月2日に改訂された総務省の「自治体DX全体手順書<2.0版>」において、人材シェアリングの好事例として紹介

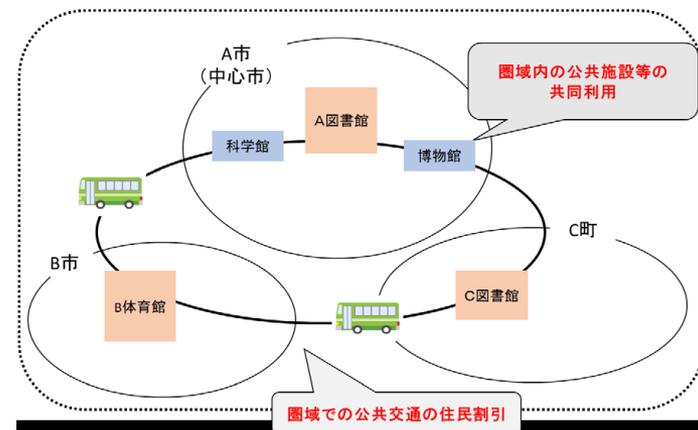
○新マイナンバーカードの広域利用促進

- びんご圏域で、マイナンバーカード空き領域を共同で活用して、マイナンバーカードの利活用シーンの拡大を図る

【参考】

○想定される活用シーン

- 図書館等の公共施設の広域共同利用
- 高齢者等の公共交通機関の利用割引



【圏域内におけるカードの広域利用イメージ ※総務省資料】

○新アナログ規制の点検・見直し

- デジタル化の推進のため、法令等による目視、定期検査や点検などのアナログ規制に係る見直し状況やデジタル技術の活用等に関する手法を情報共有し、必要に応じて連携による見直しを実施

規制の洗い出し、類型・フェーズの当てはめ

規制の見直しの検討

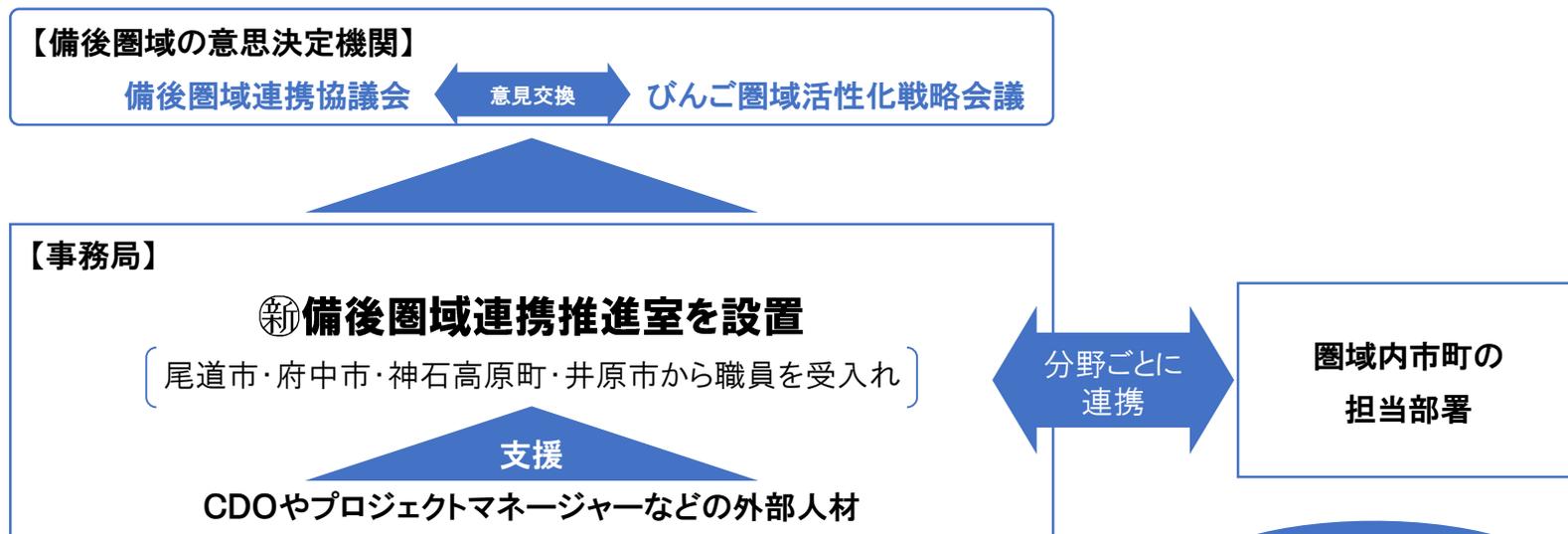
規制の見直し

(4) その他事業

① 備後圏域の事務局機能の強化

- 第3期びんご圏域ビジョン（計画期間：2025～2029年度）の策定と新たな連携事業の構築に取り組むため、備後圏域の事務局機能を強化し、市町間の連携を更に推進する。
- デジタルツールも活用した連携プラットフォームの中で、外部人材からの支援も受けながら、情報共有・議論しながら検討を進める。

○推進体制イメージ



○取組の方向性

2023年度

各市町の課題や連携へのニーズに関する調査

各分野のデータの収集と分析

2024年度から着手する連携事業の構築(プロジェクト)

2024年

第3期びんご圏域ビジョンの策定

- 各分野で必要な取組の方向性の検討
- 目標値の設定

第3期ビジョンの下で2025年度以降に着手する連携事業の構築(プロジェクト)

2025年度
新ビジョンに基づく
取組がスタート

② (仮称)「子ども未来館」プロジェクト

- 備後の子どもたちが楽しく学び、成長する施設をめざし、基本計画策定と民間活力活用に向けた可能性調査を実施
- 圏域内の学校や各施設と連携してコンテンツを提供

基本理念

知的好奇心を喚起し、未来に向けて挑戦する心を育む

子ども未来館は、体験、体感をベースとした学びを通じて、知的好奇心や探究心を育みます
そして、社会課題の発見・解決能力を高め、未来を切り拓いていく心を育みます

新しい技術の体験
や知識の獲得

未来で活躍する
次世代人材の育成

主体的な参加を通じた
自己肯定感の醸成

事業内容のポイント

発見

新しい知見や先進技術との
出会いと発見の機会を提供する

創造

気づきや発見から興味をいざない
利用者自身も創造や表現を行う

発表

事業活動の成果や個人の創作を
館内外で発表し広げる

取り扱うテーマの視点

STEAM教育の分野と歴史の視点を扱いながらも時代変化に対応でき、利用者が自分ごとに行うテーマ設定を行う。
ex) 生命、地球環境、情報、基礎科学 など

施設の機能

- 1 インタラクティブな体験の提供**
双方向型の体験や毎回結果が異なるような体験を提供するための展示空間や機能。
- 2 高品質なデジタルコンテンツを提供できる設備**
最新の映像技術、ICTを活用しながらも時代変化に対応して持続的に更新できる設備、機能。
- 3 機能によって分割されないダイナミックな空間**
ワンフロアや大空間など、さまざまな機能がつながりながら多用途に活用できる施設。

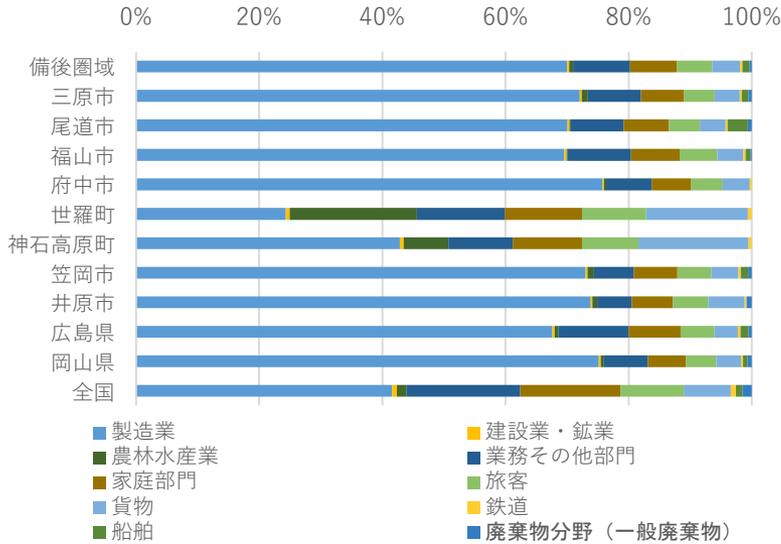
組織・人員体制

- 1 未来館の事業に相応しい情報や知見の継続的な収集**
未来館らしい事業を持続するための新しい知見を収集、蓄積し、未来館の活動成果を後世につたえる
- 2 利用者の興味関心をつなげるコミュニケーター人材**
展示や活動プログラムに寄り添い、利用者の興味関心と挑戦を後押しするチームの充実。
- 3 館や地域を超えた多種多様な連携**
日常的な情報発信により備後圏域はもちろん、国内外の機関との連携を図り事業を創出する組織

③ カーボンニュートラルの取組について

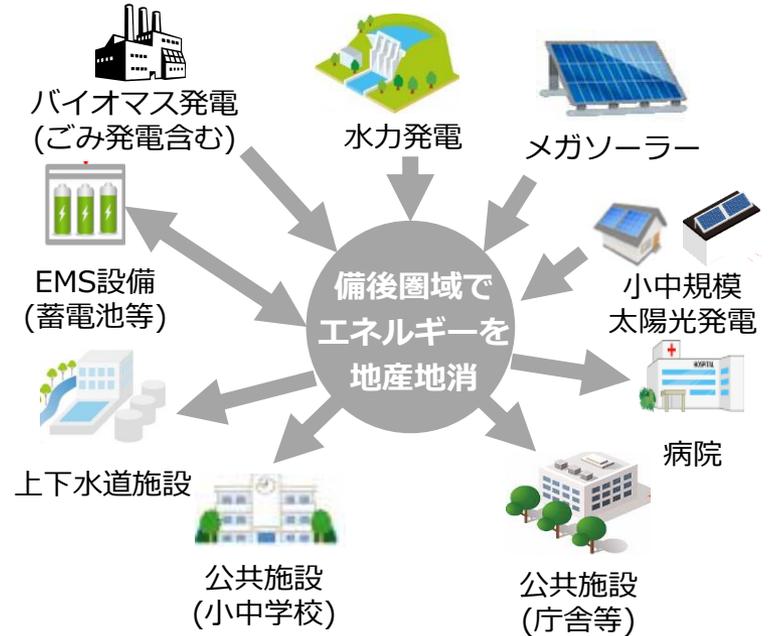
- ・ 備後圏域内で作った再生可能エネルギーを備後圏域内で消費する「エネルギーの地産地消」の促進など、圏域内の住民・企業を巻き込んだカーボンニュートラルに向けた取組を検討

【2019年度の部門・分野別の温室効果ガス（CO2）構成比】



(出典) 環境省「自治体排出量カルテ」

【エネルギーの地産地消のイメージ】



【参考】備後圏域内のカーボンニュートラルの取組事例

- ・ 【尾道市】 尾道の海のゆりかご（干潟・藻場）再生による里海づくり
- ・ 【福山市】 福山未来エナジー(株)による再エネの地産地消
高効率発電設備を備えた次期ごみ処理施設の整備（2024年度供用開始）
- ・ 【世羅町】 低級油脂の燃料化・リサイクル施設の整備
- ・ 【神石高原町】 木質バイオマス化発電所整備の検討
- ・ 【笠岡市】 牛のふん尿を原料としたバイオガス発電プラントの整備
- ・ 【井原市】 カーボン・マネジメントの推進



【藻場の再生（尾道市）】